

サブドレン他水処理施設の運用状況等

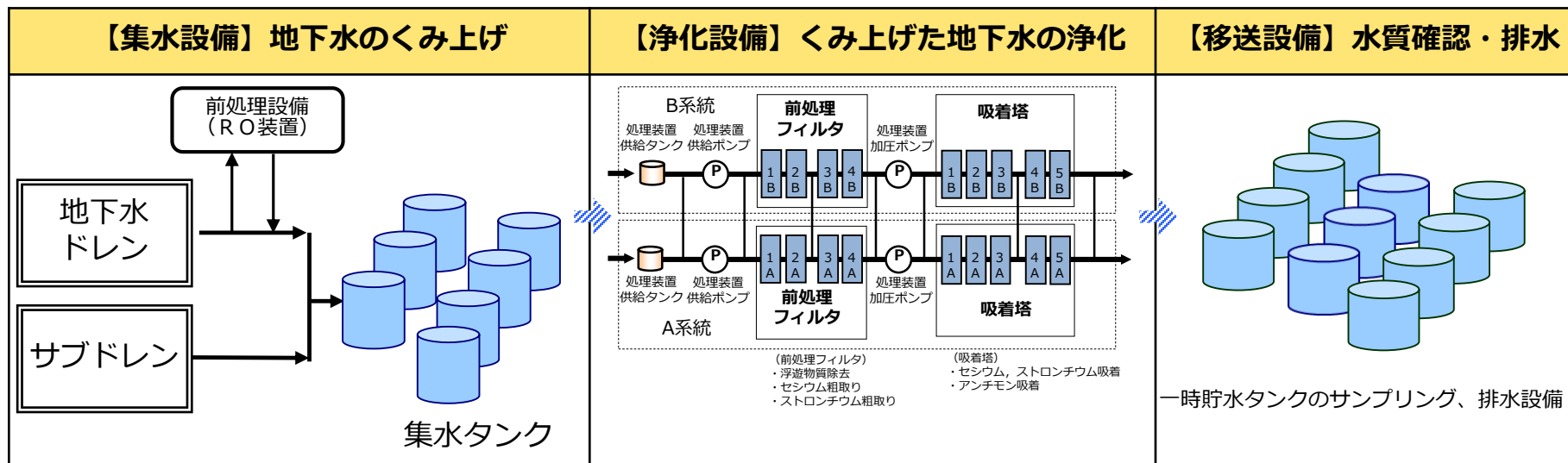
2020年11月26日

The logo for TEPCO, consisting of the letters "TEPCO" in a bold, red, sans-serif font.

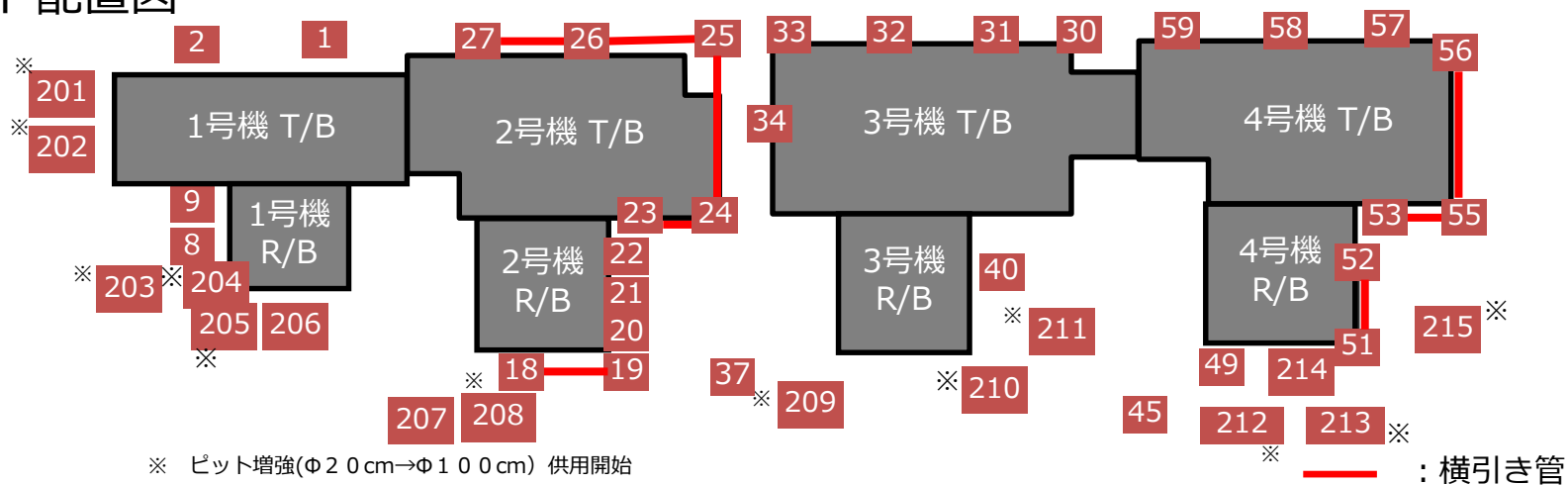
東京電力ホールディングス株式会社

1-1. サブドレン他水処理施設の概要

・設備構成

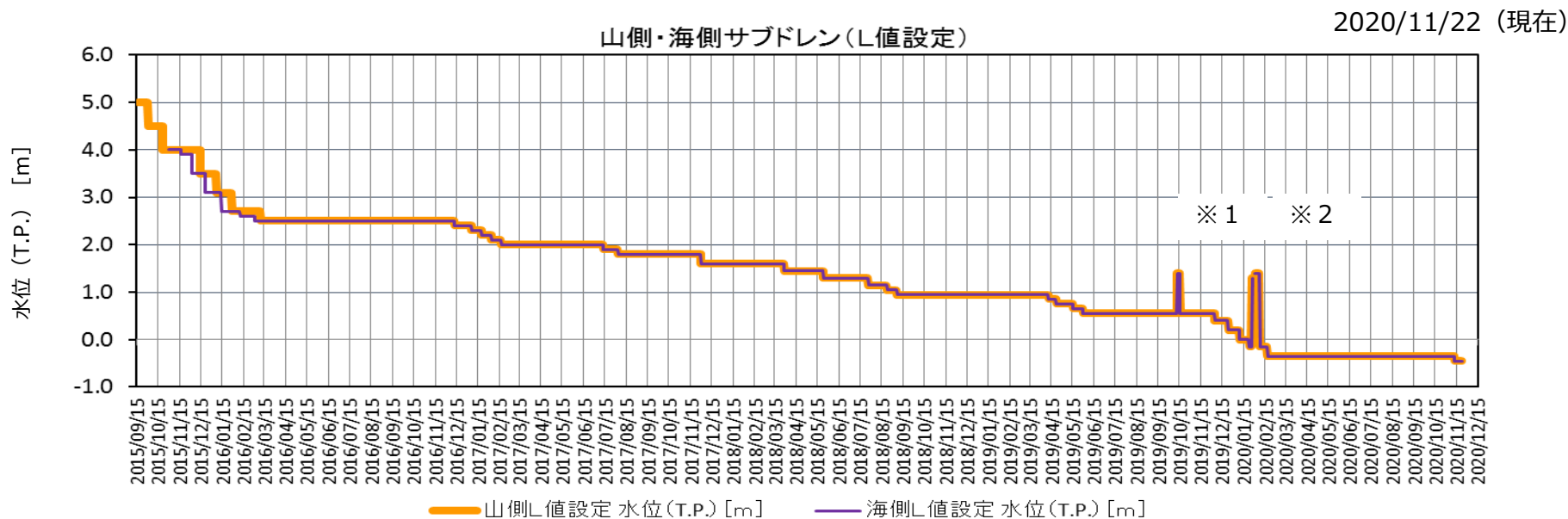


・ピット配置図



1-2. サブドレンの運転状況（24時間運転）

- サブドレンピットNo.30,37,57を復旧し、2018年12月26日より運転開始。
- 山側サブドレン設定水位のL値をT.P.+5,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年9月17日～、L値設定：2020年11月12日～T.P.-450mmで稼働中。
- 海側サブドレンL値をT.P.+4,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年10月30日～、L値設定：2020年11月12日～T.P.-450mmで稼働中。
- 2020年1月以降の運転状況
 - ・1月27日から、大雨に備えて基本のL値をT.P.+1,300mmとした。
 - ・1月29日に、2号機T/B北東エリアの水位上昇によりLCO逸脱となり、サブドレンの汲み上げを全停した。
 - ・2月3日に全ピットのL値をT.P.+1,400mm以上として、汲み上げ再開。2月7日に水位設定値を元に戻した（L値:T.P.-150mm）。
- 1/2号機排気筒周辺サブドレン
 - ・1/2号排気筒周辺SDに関して、2018年3月ごろにトリチウム濃度の上昇が確認された。
 - ・トリチウムの移流・拡散抑制対策として、周辺に地盤改良工事を実施し、2019年2月までに完了した。
 - ・それ以降、水質を確認しながら周辺SDについて稼働を再開し、現時点で周辺同等の設定水位で汲み上げが継続できている。
 - ・地盤改良の内側になるピット206,207については、水質に大きな変動がないことから、2020年11月12日に周辺ピットと同様にL値をT.P.-450mmに変更した。



※1 台風19号対応として10月12～15日の間、一時的に全ピットのL値をT.P.1400mmに変更した。

※2 1月の大雨に備えて基本のL値をT.P.1300mmとし、2月7日に水位設定値を元に戻した（L値:T.P.-0.15mm）

1-4. 至近の排水実績

- サブドレン他水処理設備においては、2015年9月14日に排水を開始し、2020年11月23日までに1,444回目の排水を完了。
- 一時貯水タンクの水質はいずれも運用目標（Cs134=1, Cs137=1, 全 β =3, H3=1,500(Bq/L)）を満足している。

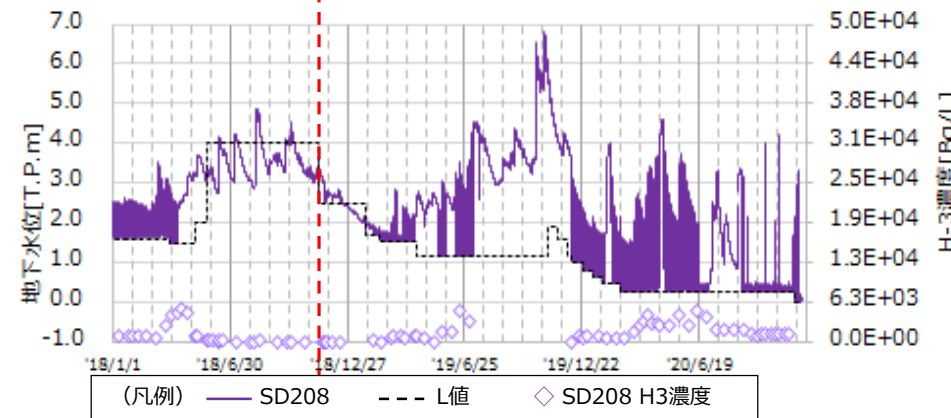
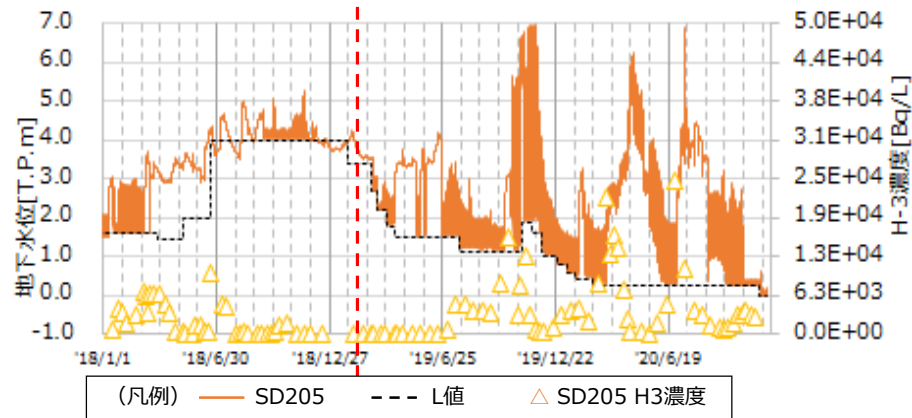
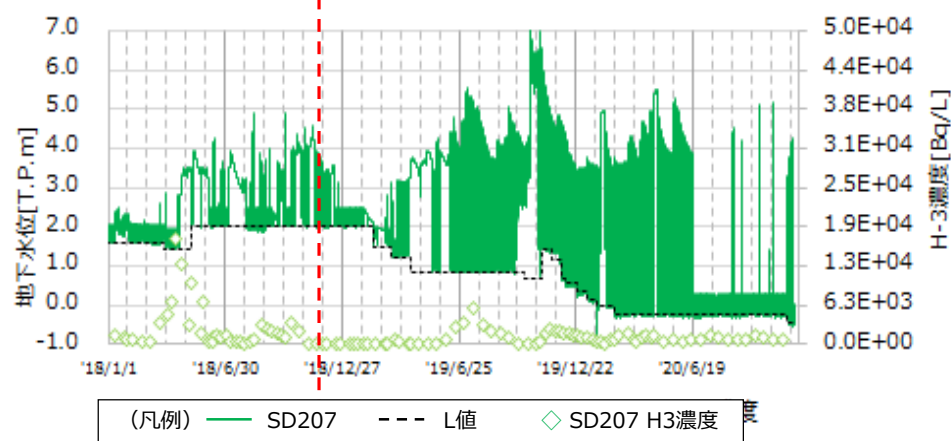
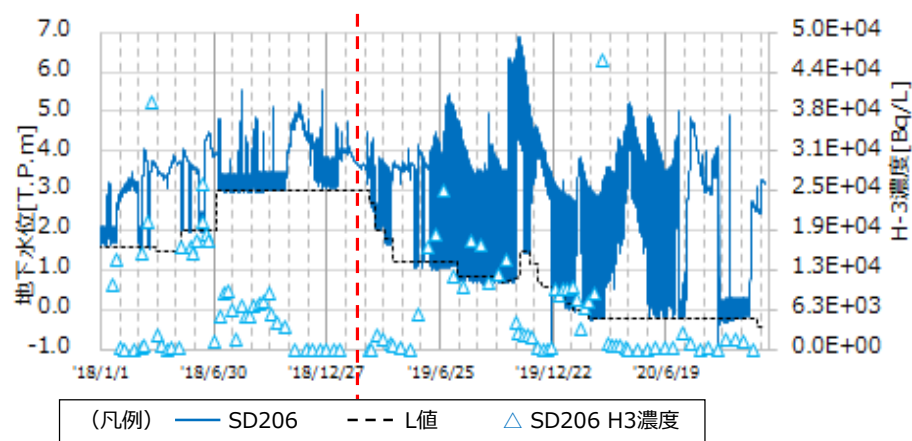
排水日		11/19	11/20	11/21	11/22	11/23
一時貯水タンクNo.		L	A	F	G	H
浄化後の水質 (Bq/L)	試料採取日	11/14	11/15	11/16	11/17	11/18
	Cs-134	ND(0.76)	ND(0.68)	ND(0.53)	ND(0.50)	ND(0.64)
	Cs-137	ND(0.77)	ND(0.77)	ND(0.80)	ND(0.54)	ND(0.65)
	全 β	ND(1.7)	ND(2.0)	ND(1.8)	ND(1.9)	ND(1.8)
	H-3	960	960	960	920	870
排水量 (m ³)		562	428	981	488	490
浄化前の水質 (Bq/L)	試料採取日	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16
	Cs-134	ND(5.3)	ND(6.0)	ND(4.6)	ND(5.5)	ND(5.4)
	Cs-137	60	64	75	85	56
	全 β	—	—	—	—	310
	H-3	1000	1100	1000	1100	960

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

* 浄化前水質における全ベータ分析については、浄化設備の浄化性能把握のため週一回サンプリングを実施。

【参考】 1/2号機排気筒周辺サブドレンピットの水質



2019/2/6地改良完了

2018/11/6地盤改良完了